

苫小牧型小中連携教育研究実践校

小中連携の取組事例①



苫小牧市教育委員会指導室

苫小牧型小中連携教育研究実践校（苫小牧東中・苫小牧東小・若草小）では、児童生徒に対し、確かな学力の育成と切れ目のない支援を実現するために、いろいろな取組を行っています。その取組内容の一部を紹介いたします。

苫小牧東中学校区の小中連携教育の概要

- ・ 9年間を通して求める15歳の子ども像と9年間で育む小中共同目標の設定

9年間を通して求める15歳の子ども像

気付き考え主体的に学ぶことができる15歳

9年間で育む小中共同目標

- ・ 基礎的基本的な学習内容を習得させ、それを活用して様々な課題を解決する児童・生徒の育成
- ・ 人権尊重の精神のもと、自他共に大切にし、より良い社会を築こうとする児童・生徒の育成
- ・ 基本的な生活習慣を身に付けさせ、心身共に健康で、最後までやり遂げる児童・生徒の育成

- ・ 小中共同目標を達成させるため、4つの部会を設立

・ 学力向上部会 ・ 生徒指導部会 ・ 特別支援教育部会 ・ ICT教育部会

- ・ それぞれの部会で、具体的な取組を作成し、実行する。

[苫小牧市立苫小牧東中学校区小中連携教育構想 Grand Design はこちら →](#)



小中連携に特化した授業改善【小中共同の指導案づくり】理科（ICT教育部会）



個人で作業する

グループで発表
準備をする



中学校の理科で、学んだ知識・技能を学習用端末でまとめ、発表する授業を行いました。「より効果的になる」「より自分に適している」と判断できる力をつけさせるため、まとめる際には、活用するアプリを自己決定させました。

中学生がICTを活用している姿を小学校の先生方が参観することで、小学校で身に付けなければならない情報活用スキルが明確になり、小学校の授業でもICTを活用する必要性が生まれてきます。

小中連携に特化した授業改善【小中共同の指導案づくり】音楽科（学力向上部会）



若草小学校の6年生の音楽で、中学校の音楽の先生が乗り入れ授業を行いました。

本時の授業を行うために、小中共同の指導案検討を行いました。

合唱では、中学校の合唱につながるようなアドバイスをしました。リコーダー演奏では、中学校で使用するアルトリコーダーでの演奏も紹介して、中学校での学びへの見通しも伝えることができました。



総合的な学習の時間 発表会【中学1・2年合同発表会】



中学1、2年生が体験学習や宿泊研修で学んだ内容を、苦小牧東小学校の6年生に披露しました。生徒は、学習用端末を片手に、発表し、児童はじっくりと耳を傾けていました。

中学生にとっては、下級生にわかりやすく、興味をもってきいてもらうために、スライドに効果をつけたり、発表方法を工夫したり、プレゼンの質が高まりました。下級生にとっては、今後の学習の見通しをもつことができました。